

●モンゴル

2017年1～11月において、モンゴルの経済指標は、改善と悪化の両方の動きを見せている。実質 GDP は拡大し、貿易収支は黒字である。登録失業者数はやや低下している。しかし、鉱工業生産は第3四半期と10月、11月に低下している。国家財政収支は第3四半期と10月に黒字となった後、11月に赤字となった。インフレ率は上昇し、自国通貨の購買力は低下している。

マクロ経済指標

第3四半期の実質 GDP 成長率は、前期の前年同期比6.1%から同6.7%に上昇した。また、季節調整値では前期比1.2%であった。前期まで縮小が続いていた製造業と建設業の生産は、第3四半期には回復を見せ、前年同期比0.8%増となった。1～9月の最終消費は実質値で前年同期比14.1%増、固定資本形成は同

32.1%増であった。一方、政府消費は同7.6%減であった。

10月の鉱工業生産額は前年同期比9.2%増であったが、11月には同4.3%減とマイナスに転じた。減少の要因は主に石炭と原油の生産低下によるものであった。11月の石炭生産量は370万トンで、前年同期の480万トンから減少した。11月の原油生産量は63万7600バレルから減少した。2017年中頃から、石炭の主要出荷ルートの最大の国境通過地点であるガシュンスカートの輸送の不効率と、荷役能力の不足によって、100kmを越える長大な交通渋滞が発生しており、石炭生産者は生産量を抑える必要が生じている。また、生産の抑制は、中国が大気汚染を防ぐためにトラックによる石炭輸送に対する規制を強化したことによっても生じている。

消費者物価 (CPI) 上昇率は上昇が続いており、10月には対前年同期比6.9%となった。11月には同6.5%に低下している。

消費者物価は、通信と住宅賃貸料を除く全ての部門で上昇している。CPIの中で大きなシェア (全体の26.1%) を占める食品及び非アルコール飲料は、11月に前年同期比8.7%の上昇、3番目のシェア (全体の14.4%) を占める交通は同9.8%で最高の上昇となった。

2017年10月において、通貨トゥグリグの対米ドル平均為替レートは1ドル=2459トゥグリグ、11月は同2449トゥグリグとなった。1～11月は同2440トゥグリグとなり、これは前年同期比15.4%の減価となっている。

2017年10月の国家財政収支は687億トゥグリグの黒字となったが、11月には3110億トゥグリグの赤字となった。1～11月の累積は9800億トゥグリグの赤字であった。しかし、この累積額は前年同期の赤字額を12.8%下回っている。これは財政収入の増加と財政支出の減少によるもので、1～11月の財政収入は前年同期を27.7%上回る6兆5000億トゥグリグ、財政支出は前年同期を3.8%下回る7兆4000億トゥ

ルグであった。財政収入の上昇は、支出税の21.4%の低下にも関わらず、付加価値税、外国貿易税、社会保障負担が伸びたことによるものである。財政支出の低下は、純貸出と資本、財・サービス支出の減少によるものであった。

2017年11月末の貨幣供給量(M2)は、14兆8000億トゥグルグ(60億ドル)であった。これは前年同期を26.4%上回っている。米ドル建てでは同じく25.6%上回っている。一方、2017年11月末の融資残高は13兆5000億トゥグルグで、前年同期を6.1%上回っている。米ドル建てでは前年同期を5.5%上回っており、これは2014年12月以来の上昇である。2017年10月末の不良債権比率は8.8%で、11月末には8.6%に低下した。

外国貿易

2017年1～11月におけるモンゴルの貿易総額は96億ドルであった。輸出は57億ドルで前年同期比33%増、輸入は39億ドルで同26.8%増であった。この結果、貿易収支は18億ドルの黒字となった。これは、前年同期を48.9%上回った。輸出の増加は鉱産物、主に石炭の増加によるものである。石炭の輸出金額は1～11月に13億ドル増加した。また同時期の輸出数量は3130万トンで、そのうち3100万トンが瀝青炭であった。

1～11月における中国への輸出は、前年同期を40.7%上回る49億ドルを記録した。一方、中国からの輸入は13億ドルで前年同期を29.4%上回っている。韓国への輸出は前年同期を45.1%上回る1070万

ドルを記録した。韓国からの輸入は1億8000万ドルで、前年同期を2.8%上回っている。ロシアへの輸出は前年同期を16%上回る5970万ドルを記録した。ロシアからの輸入は11億ドルで、前年同期を42%上回っている。日本への輸出は前年同期を4.9%上回る1350万ドルを記録した。日本からの輸入は3億3430万ドルで、前年同期を7.5%上回っている。北朝鮮への輸出は198万ドルであった。北朝鮮からの輸入は34万2000ドルで前年同期を5.6%下回った。

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダグ

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 1Q	2017年 2Q	2017年 3Q	2017年 10月	2017年 11月	2017年 1-11月
実質 GDP 成長率 (対前年同期比:%)	12.3	11.6	7.9	2.4	1.0	4.2	6.1	6.7	-	-	-	-	-
鉱工業生産額 (対前年同期比:%)	7.2	16.1	10.7	8.8	12.3	24.1	20.6	10.2	9.2	▲ 4.3	15.4	4.5	18.0
消費者物価上昇率 (対前年同期比:%)	14.3	10.5	12.8	1.9	1.1	2.2	3.5	4.7	6.9	6.5	4.0	5.0	3.2
登録失業者(千人)	35.8	42.8	37.0	32.8	34.4	34.4	29.1	25.4	24.2	24.1	24.1	25.3	25.3
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,359	1,526	1,818	1,971	2,146	2,475	2,401	2,436	2,459	2,449	2,440	2,443.5	2,435
貨幣供給量(M2)の変化 (対前年同期比:%)	19	24	13	▲ 5.5	20.2	20.4	20.5	27.7	25.1	26.4	26.4	27.6	27.6
融資残高の変化 (対前年同期比:%)	24	54	16	▲ 6.5	6.1	7.1	7.3	7.4	6.5	6.1	6.1	6.6	6.6
不良債権比率(%)	4.2	5.0	5.0	7.4	8.5	8.2	8.8	8.7	8.8	8.6	8.6	8.8	8.8
貿易収支 (百万 USドル)	▲ 2,354	▲ 2,089	538	872	1,559	524	652	277	231	98	1,782	164	1,348
輸出 (百万 USドル)	4,385	4,269	5,775	4,669	4,917	1,300	1,806	1,477	606	498	5,686	582	4,102
輸入 (百万 USドル)	6,738	6,358	5,237	3,798	3,358	776	1,154	1,200	375	399	3,905	418	2,754
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	▲ 1,131	▲ 297	▲ 868	▲ 1,163	▲ 3,668	▲ 255	▲ 486	2.8	68.7	▲ 311	▲ 980	11.8	▲ 578
国内貨物輸送 (対前年同期比:%)	1.7	▲ 1.3	20.1	▲ 16.1	12.5	18.6	23.0	▲ 8.3	-	-	-	-	-
国内鉄道貨物輸送 (対前年同期比:%)	6.3	▲ 0.5	2.8	▲ 8.0	8.3	▲ 0.7	10.6	15.1	0.3	7.9	8.2	26.9	9.2
成畜死亡数 (対前年同期比:%)	▲ 34.1	84.8	▲ 63	56	2.3*	▲ 68	-	▲ 40	-	-	-	-	-

*速報値

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。
(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか